

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和5年9月28日

10月は臓器移植普及推進月間です ～第27回臓器移植推進街頭キャンペーンを開催します～

毎年10月は臓器移植普及推進月間とされ、全国で臓器移植への理解が進むよう集中的に普及啓発活動が行われます。

県では広く県民に臓器移植医療に対する理解と協力を得るため、4年ぶりに「臓器移植推進街頭キャンペーン」を開催し、駅前等で普及啓発リーフレット等を配布します。

この機会に、臓器移植について考えていただくとともに、臓器提供の意思表示の協力を呼び掛けます。臓器提供の意思表示は健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード、意思表示カードの裏面に記載するほか、インターネットにより登録することができます。

●「第27回臓器移植推進街頭キャンペーン」概要

1 開催期日

令和5年10月1日（日）

2 主催・共催・後援

主催：特定非営利活動法人埼玉県腎臓病患者友の会

共催：（公財）埼玉県腎・アイバンク協会、（公社）埼玉県臨床工学技士会

後援：埼玉県、さいたま市

3 内容

臓器移植啓発リーフレット・啓発品の配布

4 開催場所等一覧

場所	時間	参加者
J R大宮駅西口	13時～14時	主催・共催団体、疾病対策課職員 コバトン、さいたまっち
J R南越谷駅	11時～12時	主催団体
J R川越駅	13時～14時	主催団体
東武東上線 上福岡駅	10時～11時	主催団体
深谷市福祉健康まつり	10/29(日)9時～10時	主催団体

※配布物がなくなり次第終了となります。

【日本の臓器移植の現状】

- ・移植希望登録者数 15,961人（2023年8月31日現在）
- ・脳死下で提供された方 89人（2023年1月～8月）
- ・心停止後に提供された方 12人（2023年1月～8月）
- ・インターネットによる臓器提供意思登録者数
164,430人（2023年8月31日現在）

【海外との比較】

日本では特別な治療法と思われがちな臓器移植ですが、海外（アメリカやヨーロッパ）では普通に行われています。

アメリカでは、年間約14,000人もの方が臓器を提供され、臓器移植件数は約40,000件です。

一方、日本では移植を希望して待機している方が約16,000人もいる中で、死後に臓器提供する人は年間100人前後（臓器移植件数は400件程度）です。

臓器移植は、第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。

皆さまの意思で救える命があります。自分の意思を尊重するためにも、臓器移植について考え、家族と話し合い、「提供する」「提供しない」どちらかの意思を表示しておくことが大切です。

世界の臓器提供数（100万人当たりのドナー数）



※フランスのみ2021年のデータ

出典：IRODaT(DTI Foundation)(2022年)

(日本臓器移植ネットワークホームページより)